

土壁の構造・材料構成・仕様などについても、研究をすすめる予定である。

平城宮建物復原実施にともなう調査研究 大極殿関係では、復原実施設計図書作成、並びに5分の1構造模型と屋根葺き実験用の原寸瓦葺き模型の製作(61頁参照)について、また宮内省では築地の復原など、設計に関する監修を行った。東院庭園隅櫓の施工にあたっては、原寸図における検討や用材の確認を行った。

木造建造物の保存修復のための調査研究 昨年度から7年計画で発足した4部会からなるプロジェクトで、文化庁の協力による関係機関や大学との共同研究として行っている。部会1は保存修復の体制確立のための研究とし、多様化する文化財建造物に対処する新たな体制と組織の研究。部会2は保存修復に関する考え方と手法の研究として、過去の修復を評価するとともに、文化財保存修復の今後のあるべき考え方、方法をさぐる。部会3は参考となる海外の事例を調査研究する。部会4は保存事業にともない蓄積された学術資料の整理と保存活用方法の研究で、文化庁ほかに収蔵された保存修復時の資料を再評価し、今後の活用方法を研究するものである。

各地の史跡の整備事業への助言・指導 柳之御所(岩手県)、下野国分寺(国分寺町)、新居関(新居町)、崇廣堂(上野市)、近江国庁(滋賀県)、春日大社、津山城(津山市)、上淀庵寺等(淀江町)などの、遺跡整備における建物復原に関する助言・指導を行った。

各地の文化財建造物の修復事業への助言・指導 新宿御苑(環境庁)、中央公会堂(大阪市)、布引ダム(神戸市)、今井町(樫原市)、周防国分寺金堂(国分寺)、旧県会議事堂(山口県)、脇町南町(脇町)、西田橋(鹿児島県)などの保存修復にあたり、助言・指導を行った。

(木村 勉/建造物研究室)

書跡資料の調査と研究

研究所所蔵の北浦定政関係資料につき、資料管理、活用の意味から必要であるために、目録番号順に写真撮影を行った。また一部資料の釈読を開始した。

寺社所蔵資料調査関係では、興福寺で、『興福寺典籍文書目録 第三巻』に収録予定の分につき、大部な大般若経箱を除いては調査作成は終了した。なお写真撮影を

継続して行っている。またそれに併行して、目録原稿作成をしている。薬師寺は、東京大学史料編纂所と共同で調査しているが、木箱28箱のうち、第26、27函を除いて調査作成を終えた。次には、冊子本が大半を占める筆筒分、整理用紙箱分に取りかかることになる。内容については、調査研究報告の欄を参照されたい。

法隆寺では、天函、リ函の未撮影分につき、写真撮影をした。これで法隆寺文書の片仮名箱(卷子本)と甲乙等箱(冊子本)についてはすべて撮影したことになる。また寺側で行っている、まだ目録化されていない文書の調査に関係して、中世分の整理に協力をした。また『昭和資財帳』収録の目録記載の中世文書につき釈文を作成中である。

さらに東大寺図書館には、多くは江戸時代のものであるが、中世文書もかなり含む100箱以上の文書記録類が所蔵されている。それらの資料につき、整理、調査を計画しており、函号をつける作業を行った。

その他文化庁関係調査で醍醐寺聖教、冷泉家典籍、科研関係調査で西大寺絵図・文書、仁和寺御経蔵聖教、他機関調査に参加するかたちで春日大社記録、寺からの調査協力依頼で石山寺知足庵聖教の調査に参加した。

また奈良県教委が実施している県下所在の中国朝鮮版経調査にも参加している。なお版経で既指定の一切経など大部なものには、詳細な目録が作成されていないこともあり、改めて詳しい資料のデータを収集する必要性が感じられた。

書跡資料料紙原本の調査研究関係では、反故紙を利用して、いろいろな製法によって宿紙のサンプルを製作した。反故紙のみを漉き返すだけでは、現存する宿紙までの濃さには到底ならないので、相当量の墨汁を加えたり、柿渋で定着性を強めることなどの加工が行われたであろうことが共通認識となった。

(綾村 宏/歴史研究室)

埋蔵文化財センターの研究活動

1部6研究室、情報資料室と教務室からなる。部・研究室・各研究員がそれぞれの課題を定めて取り組んでいる研究はいうまでもなく、外部への埋蔵文化財の調査や保存についての研修を開催し、また各地で行われる発掘調査や保存事業について、地方公共団体や関係機関の求

めに応じて、専門的・技術的立場から指導と協力を行っている。これらの事業内容のうち、研究活動について、研究課題とその成果の一部を紹介する。

研究課題：遺物による考古史研究、古代官衙遺跡等の調査研究、文化財の自然科学的手法による調査研究（動植物遺存体による環境考古学的研究・年輪による古気候と年代測定に関する研究・広域遺構探索法の開発研究）、文化財の自然科学的手法による保存修復に関する研究（常時微動測定による古建築の構造と保存に関する研究・有機質遺物の材質分析とその保存処理法の開発研究・文化的景観の保存に関する研究）、文化財情報システムの構築と活用法の研究（劣化写真のデジタル画像による復原・全国不動産文化財情報システムの普及流通に関する調査研究・文化財情報ネットワークにおける通信法の研究・遺跡地図情報システムの開発研究）

古代官衙遺跡等の調査研究 昨年度以来の地方官衙や官衙関連遺跡、豪族居宅遺跡などの資料収集作業と分析作業を継続して行い、秋からその成果の一端を、遺跡データベースとして全国に公開した。郡衙関係では、正倉検出例の収集を行い、3月に全国の考古・文献史学研究者を集めて「郡衙正倉の成立と変遷」という研究集会を開催し、正倉の成立と展開のあり方について討議した。豪族居宅に関しては、建物群の設置状況から3類に大別して階層差を抽出するとともに、集落内における倉庫群を豪族私有の収納施設との観点から再検討する必要があること、存続期間が短期であるという特徴があり、そこに経営拠点の移動や宅地の財産継承の未熟性がうかがえること、などの知見を得た。

劣化写真のデジタル画像による復原 1996年度から開始したデジタルによる画像復原は、2年間で飛鳥寺や飛鳥藤原宮跡発掘調査部保管の4×5判カラーポジの入力を全て終了した。また、九州地方に多く存在する彩色壁画古墳を銀塩写真で撮影し、それを同じように高画質のプロフォトCDでデジタル化し、画像処理することによって、今までは発見されていなかった新しい「壁画」の発見に大いに役立っている。

文化財情報ネットワークにおける通信法の研究 遺跡に関する情報を管理する場合の項目設定や、活用方法についての交換標準を検討した。ネットワーク上の情報の管理として、メタデータ一般についての検討を行い、さらに埋蔵文化財関係の情報に特有の項目について考察した。多くの関係者の意見を求める必要があるため、全国の埋蔵文化財関係者らの参加による「遺跡情報管理に関する検討会」を開催し、種々意見交換を行った。

全国不動産文化財情報システムの普及流通に関する調査研究 全国遺跡データベースについて、分野別の遺跡地名表及び近年の報告書抄録を活用して、データの充実を図った。また、全国の遺跡情報のクリアリング・ハウス構築に向けて、問題点を検討した。その結果、全国の遺跡情報のコアの情報を奈文研が提供することとなった。

(沢田正昭/埋蔵文化財センター)

木簡データベースの公開

当研究所では、各発掘調査機関の木簡に関する報告書、及び木簡学会編『木簡研究』に基づいて、全国出土木簡のデータベースを作成してきた。その成果は、既に1992年以来学術情報センターを通じて公開してきたが、最近のインターネットの普及に鑑み、従来の木簡データベースに木簡の写真画像を付した新たな木簡データベースを作成し、1999年5月1日から当研究所のホームページ上で外部公開を行っている。

この木簡データベースには、外部公開用のデータベースとは別に、奈文研内部でデータの整理を行うための内部用データベースがある。内部用には平城宮・京出土で、文字が読めないなどの理由で未公開の木簡のデータが含まれているが、外部用は木簡概報などで公表したデータのみとなっている。外部用の公開項目は、木簡番号・型式番号・出典・形状・寸法・樹種・木取り・内容分類・遺跡名・発掘次数・地区名・遺構番号・所在地・本文・年号・年月日・国郡郷里・人名、及び木簡画像となっている。

奈良国立文化財研究所 木簡データベース

0. [全体] 25755点	
番号	内容
000001	木簡1-1
000002	木簡1-2
000003	木簡1-3
000004	木簡1-4
000005	木簡1-5
000006	木簡1-6
000007	木簡1-7
000008	木簡1-8
000009	木簡1-9
000010	木簡1-10
000011	木簡1-11
000012	木簡1-12
000013	木簡1-13
000014	木簡1-14
000015	木簡1-15
000016	木簡1-16
000017	木簡1-17
000018	木簡1-18
000019	木簡1-19
000020	木簡1-20
000021	木簡1-21
000022	木簡1-22
000023	木簡1-23
000024	木簡1-24
000025	木簡1-25
000026	木簡1-26
000027	木簡1-27
000028	木簡1-28
000029	木簡1-29
000030	木簡1-30
000031	木簡1-31
000032	木簡1-32
000033	木簡1-33
000034	木簡1-34
000035	木簡1-35
000036	木簡1-36
000037	木簡1-37
000038	木簡1-38
000039	木簡1-39
000040	木簡1-40
000041	木簡1-41
000042	木簡1-42
000043	木簡1-43
000044	木簡1-44
000045	木簡1-45
000046	木簡1-46
000047	木簡1-47
000048	木簡1-48
000049	木簡1-49
000050	木簡1-50
000051	木簡1-51
000052	木簡1-52
000053	木簡1-53
000054	木簡1-54
000055	木簡1-55
000056	木簡1-56
000057	木簡1-57
000058	木簡1-58
000059	木簡1-59
000060	木簡1-60
000061	木簡1-61
000062	木簡1-62
000063	木簡1-63
000064	木簡1-64
000065	木簡1-65
000066	木簡1-66
000067	木簡1-67
000068	木簡1-68
000069	木簡1-69
000070	木簡1-70
000071	木簡1-71
000072	木簡1-72
000073	木簡1-73
000074	木簡1-74
000075	木簡1-75
000076	木簡1-76
000077	木簡1-77
000078	木簡1-78
000079	木簡1-79
000080	木簡1-80
000081	木簡1-81
000082	木簡1-82
000083	木簡1-83
000084	木簡1-84
000085	木簡1-85
000086	木簡1-86
000087	木簡1-87
000088	木簡1-88
000089	木簡1-89
000090	木簡1-90
000091	木簡1-91
000092	木簡1-92
000093	木簡1-93
000094	木簡1-94
000095	木簡1-95
000096	木簡1-96
000097	木簡1-97
000098	木簡1-98
000099	木簡1-99
000100	木簡1-100

木簡データベース検索結果画面